

第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

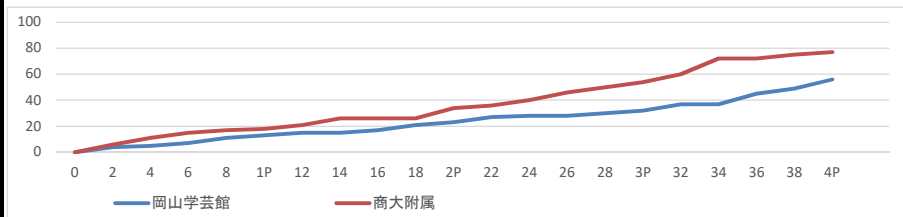
日時	2018年1月28日	9:30	男子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校			Gコート 第1試合

● 岡山学芸館 56 $\left\{ \begin{array}{l} 13 - 18 \\ 10 - 16 \\ 9 - 20 \\ 24 - 23 \end{array} \right\}$ 77 商大附属 ○

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
能瀬 竜一郎 (C)	* 4	12		6		1	守友 良 (C)	* 4	15	4	1	1	4
岩佐 拓弥	5	-					藤原 進伍	* 5	12	2	2	2	1
水畑 凱登	6	5	1	1			井上 成也	* 6	-		9	1	2
伊藤 亜蓮	7	2		1			小林 亮太	* 7	9		3	3	1
石田 達也	* 8	-		1	3	3	河野 彪雅	8	26		13		
佐々木 光樹	* 9	8		4		2	吉田 圭汰	9	-				
田中 勇輝	10	0					脇 真大	* 10	-	1	2	5	1
片山 裕貴	11	0					杉本 陽向	11	6		3		
小椋 紀稀	12	-					山田 陵太	12	2		1		1
門田 欣也	* 13	-	1	4		2	鳥羽 昂輝	13	-	1			1
村田 司	14	0					吉田 亘汰	14	-				
小山 雄大	* 15	-		1		3	横尾 青葉	15	-	1	1		
中村 亮太	16	-					櫻木 翔	16	-				
片山 太陽	17	-		2			福田 翔	17	-				
田中 耐臣	18	-		3	1		田村 潤	* 18	9		4	1	2
合計		27	2	23	4	11	合計		79	9	39	13	13

戦評

1P 両チームともマンツーマンでスタート。商大は④を中心にゲームを組み立て、⑥、⑩らが得点を重ねていく。一方学芸館も商大にドライブを阻まれながらも④、⑧らが得たボールを確実に得点につなげて追いつく。学芸館13-18商大で1P終了。
2P 商大は堅い守りから⑥が速攻を決め、さらに④の3ポイントでリードを広げる。残り4分、11点差となったところから、学芸館が④が2本のミドル、⑬がルーズボールを得点につなげ、一気に差を縮める。商大も慌てることなく、④がバスケットカウント、リバウンドから得点して流れを取り戻し、学芸館23-34商大で前半終了。
3P 序盤は互角の立ち上がり。学芸館は商大のディフェンスにゴール下まで攻めきれず、⑩、⑨がミドルを決めるものの、商大がリバウンドを速攻につなげ、④、⑥らが確実に得点を重ねていき、リードを広げて学芸館32-54商大で3P終了。
4P 学芸館⑬の3ポイント、⑧のフリースローで始まるが、商大も④の得点で差を詰めさせない。残り6分、商大は⑩④④⑬の4連続3ポイントで一気に大差をつけ、試合を決める。両チームともメンバーチェンジの後には、学芸館も粘りを見せ、追い上げを図るが及ばず、学芸館56-77商大で商大が勝利した。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

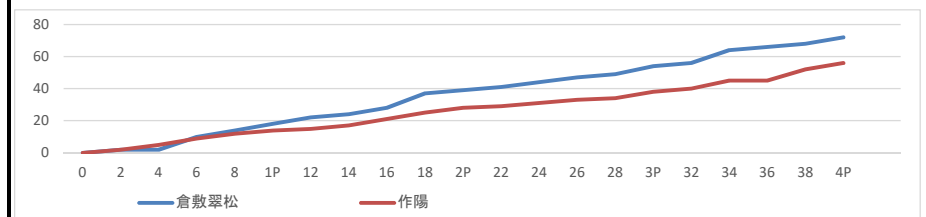
日時	2018年1月28日	9:30	女子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校			Hコート 第1試合

○ 倉敷翠松 72 $\left\{ \begin{array}{l} 18 - 14 \\ 21 - 14 \\ 15 - 10 \\ 18 - 18 \end{array} \right\}$ 56 作陽 ●

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
角場 沙綾 (C)	* 4	10		3	4	5	折居 来愛 (C)	* 4	6		2	2	4
福山 怜実	* 5	26		12	2	4	加藤 夏希	* 5	0				
元林 沙月	* 6	4		2		4	池口 歩花	* 6	8		1	6	2
梅澤 実佑	* 7	4		2		3							
高橋 実優	* 8	6	2				堀尾 歩乃花	* 8	9	1	2	2	
信岡 実咲	9	0					豊田 果穂	9	3		1	1	2
江川 晏那	10	0				1	安藤 智里	10	6		2	2	4
平尾 美月	11	-											
三島 瀬理海	12	0				2							
水嶋 嶺花	13	9		3	3	3							
原田 亜未	14	7	1	1	2		安藤 智美	* 14	24		9	6	3
大谷 玲未	15	6		3		4							
合計		72	3	26	11	26	合計		56	1	17	19	15

戦評

1P 両者ともマンツーマンでスタート。出だし⑤が速攻からのバスカンでスタート。対する作陽は⑧がジャンプシュートや3ポイント、④も速攻からのバスカンを決めるなど応戦する。翠松はその後⑤がゴール下ドライブや24秒ブザービーターでゴール下を決めるなど一進一退の攻防が続くが翠松は終盤に④、⑬、④のドライブや速攻を絡め18-14の翠松リードで終了。
2P 翠松⑤のギャロップシュート、⑥もゴール下をねじ込むなどしてしりじりとリードを広げようとするが作陽も⑩がゴール下を頑張る、途中ゾーンを入れながら応戦する。両チームともファウルが多い中、翠松④や⑭がフリースローを確実に沈め、⑧も速攻からの3ポイントを入れるなど徐々に差を広げていき翠松39-28作陽で終了。
3P 作陽ゾーンをひき、④が自身4目となるオフェンスファウルを犯しベンチへ退く、リズムを取り戻そうとする。翠松は⑧や⑭が3Pを決めるなどするもののゾーンを攻め倦むが、作陽もゴール下シュートなど後一本が出ずその差が縮まらない。翠松は④が5ファウルで退場し、残り3分25秒タイムアウト後⑤の速攻や⑤がハイポストからシュートを決め⑬もバスカン後フリースローを沈めるなど差を突き放していき、59-38の翠松リードで終了。
4P 作陽はディフェンスをマンツーマンに戻し、当たりを強めようとするが⑤が一対一からドライブを決め、⑬もバスカン後のフリースローを落とすものの自分で拾って入れるなどさらにリードを広げていく。作陽は⑩がゴール下を踏ん張り⑧もジャンプシュートを決めるなどしたものの最後は72-56で翠松がリードを保ったまま勝利した。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

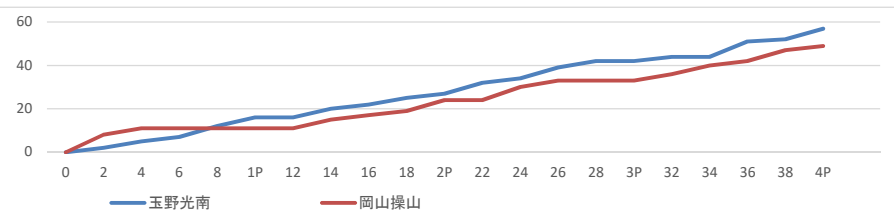
日時	2018年1月28日 11:00	男子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校 Gコート 第2試合		

○ 玉野光南 57 $\left\{ \begin{array}{l} 16 - 11 \\ 11 - 13 \\ 15 - 9 \\ 15 - 16 \end{array} \right\}$ 49 岡山操山 ●

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
吉田 圭吾	4	-					長尾 帆高(C)	* 4	3		1	1	4
竹崎 天晴	5	-			2	3	鶴海 光貴	5	12	2	2	2	1
和泉 健大	* 6	11	1	3	2	1	長尾 隆平	* 6	-		4	2	2
新見 京介	* 7	9		3	3	5	青木 新之介	* 7	12	1	3	3	1
前田 憲一郎(C)	* 8	-		1			折戸 剛	8	26		13		
丸川 琉	9	-					高田 悠作	9	-				
泉 雄太	* 10	29	7	2	4	3	秋山 遼河	* 10	-		1		4
森山 翼	11	-					三村 力斗	* 11	21	4	3	3	3
中瀬 隼介	* 12	-		1	2	2	金谷 一史	12	2		1		1
一色 悠希	13	-					大森 悠生	13	-				
若林 徹	14	-					梶原 佑太	14	-	1			
山本 楽久	15	-					佐伯 慎太郎	15	-				
赤松 俊亮	16	-					平井 励基	16	-				
寒川 善生	17	-					栗正 真宙	17	-				
磯野 凌也	18	-					田内 新大	18	9		4	1	2
合計		49	8	10	13	14	合計		85	8	32	12	18

戦評

1P 両チーム、マンツーマンでスタート。立ち上がり操山⑦ミドル、⑥連攻などで光南0-8操山とするが、光南⑦フリースロー、⑩3ポイント、⑥ドライブなどで追い上げる。残り2分、光南⑦の連攻が決まり光南12-11操山と逆転する。操山がタイムアウトをとるがその後も光南が得点を重ね、光南16-11操山で1P終了。
2P 両チーム厳しいディフェンスで、開始2分得点が動かなかつたが、光南⑧ミドルを決め、得点が動き出す。操山は途中から2-3ゾーンに変更しディフェンスをかためてかかる。残り2分、操山がタイムアウトをとる。タイムアウト明け、光南も2-3ゾーンに変更し上からプレッシャーをかけるが、操山④ミドル、⑩3ポイントを決め追い上げたところで、光南27-24操山で2P終了。
3P 光南はマンツーマンに戻す。光南⑩の連続得点で引き離しかかるが、操山⑩3ポイントで対抗。しかし、光南⑩の勢いは止まらず、残り2分、光南42-33操山となったところで、操山がタイムアウトをとる。タイムアウト明け、操山もマンツーマンに戻し踏ん張り、光南42-33操山で3P終了。
4P 両チーム、マンツーマンでスタート。操山⑩、④の連続得点で、残り7分、光南44-40操山と点差を詰める。しかし、光南⑩3ポイント、⑥フリースローで対抗。残り5分、光南49-40操山となったところで、操山が後半2回目のタイムアウトをとる。操山がオールコートでプレッシャーをかけ始め、残り3分、5点差まで詰める。その後、両チーム一進一退が続いたが、光南が慌てずにコートを広く使い、ボールを回す。光南が操山の追い上げを退け、光南57-49操山で試合を終える。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

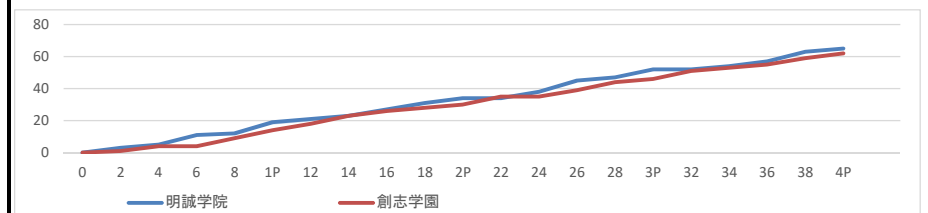
日時	2018年1月28日 11:00	女子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校 Hコート 第2試合		

○ 明誠学院 65 $\left\{ \begin{array}{l} 19 - 14 \\ 15 - 16 \\ 18 - 16 \\ 13 - 16 \end{array} \right\}$ 62 創志学園 ●

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
垣内 琳香(C)	* 4	6		2	2	4	中場 遥香	4	0				1
田中 陽菜	5	-					重永 朱里	5	-				
赤澤 萌々子	* 6	23	1	9	2	1	杉岡 蘭南	* 6	18	3	4	1	2
高原 巳和	* 7	19	1	7	2	3	岩上 朋加(C)	* 7	9	1	3		5
村田 はな	* 8	10		5		2	下向 厘杏	* 8	6		3		
岩佐 真希	9	-					定久 未奈	* 9	7	2		1	4
吉田 梨子	* 10	7	1		4	4	渡邊 莉里那	10	9	1	3		1
梅崎 愛恵	11	-											
河本 徳容	12	-											
貝原 萌望	13	-											
							宮本 蘭石	* 14	13	2	2	3	3
合計		65	3	23	10	14	合計		62	9	15	5	16

戦評

1P 両チームともマンツーマンでスタート。互いにシュートが決まらない中、創志⑥のドライブでフリースローをもらい、シュートを決める。明誠が⑦のバスケットカウントや⑧のドライブで着実に点数を重ねたため、たまたま創志がタイムアウト。その後創志は厳しいオールコートプレスをつける。明誠19-14創志で1Pを終了。
2P 明誠の厳しいディフェンスの中、創志⑨が2本3ポイントを決め、同点にし、⑧のポストプレーで逆転。しかし明誠も④のドライブや⑥の連続得点で引き離す。残り2分で創志タイムアウト後、⑦のドライブイン、⑧のインサイドが決まるが、明誠34-30創志で2Pを終了。
3P 開始早々創志⑥の連続得点で逆転。リバウンドも高い確率で取っていたが、お互いミスが多く点が動かない。明誠は⑥の3ポイントが決まるとさかさオールコートプレスをし、一歩も引かない。一進一退の攻防が続く中、創志⑦がファウルアウトし、明誠52-46創志で3Pを終了。
4P 創志⑨がドライブで相手のファウルを誘い、⑩がトップからのカットインで得点し、流れをつかみ逆転に成功。明誠は⑧や⑩のドライブで相手のファウルを誘い、フリースローも決め少しずつ引き離す。創志⑥が3ポイントを決め2点差まで迫るも、明誠⑦の3ポイント、⑩や⑥が危なげなくフリースローを決め、明誠65-62創志で試合を終了。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

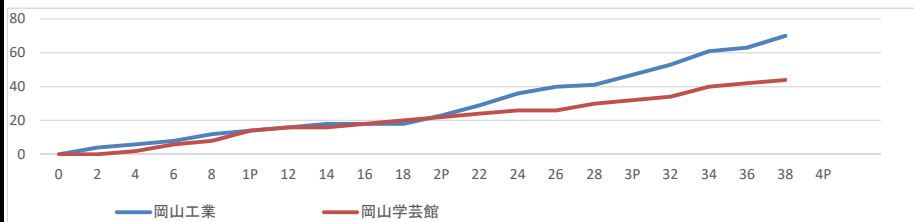
日時	2018年1月28日 12:30	男子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校 Gコート 第3試合		

○ 岡山工業 72 $\left\{ \begin{array}{l} 14 - 14 \\ 9 - 8 \\ 24 - 10 \\ 25 - 16 \end{array} \right\}$ 48 岡山学芸館 ●

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
池上 武志(C)	* 4	3		1	1	1	能瀬 竜一郎(C)	* 4	3		1	1	4
難波 唯人	* 5	-		3		2	岩佐 拓弥	5	12	2	2	2	1
大森 吉貴	* 6	6		3		4	水畑 凱登	6	-				4
角谷 大成	* 7	12		5	2	1	伊藤 蓮進	7	9		3	3	1
岡村 竜生	* 8	-		13	1	2	石田 達也	* 8	26		13		2
有松 隼弥	9	-					佐々木 光樹	* 9	-		8	2	2
滝谷 陵雅	10	-					田中 勇輝	10	-				
青木 大聖	11	0					片山 裕貴	11	6		3		
山北 陽太	12	-				1	小椋 紀稀	12	2		1		1
西本 早稀	13	-					門田 欣也	* 13	-		7		2
梶原 壮真	14	2		1			村田 司	14	-				
大西 将洋	15	-					小山 雄大	* 15	-				2
前花 拓海	16	-					中村 亮太	16	-				
中井 敦斗	17	-					片山 太陽	17	-				
木岡 裕太	18	-		7	2		田中 耐臣	18	9		4	1	2
合計		23	0	33	6	11	合計		67	2	42	9	21

戦評

1P 岡工は④⑤⑥の得点で6-0と主導権を握る。しかし学芸館も④の連続得点でリズムに乗り、残り3分には⑨の3連続得点で8-10と逆転に成功。岡工は⑧のインサイドプレーなどで応戦し、1Pは14-14と両者互角の立ち上がりを見せた。
2P 岡工は高さのある⑧のオフェンスリバウンドから攻撃の機会を増やす。しかし中盤、18-16のリードを広げたい時間帯でミスが続き、得点が止まる。学芸館は④や⑧が1対1から得点に繋げ、残り4分には18-20と再び逆転。シーソーゲームとなった前半は23-22と岡工の1点リードで終了。
3P 岡工は⑦が逆サイドから飛び込み後半最初の得点を挙げると、開始2分半で31-24と一気に流れを傾ける。タイムアウトを取った学芸館だが、直後に岡工⑧にカウントワンショットを沈められ34-24と点差を10点に広げられる。学芸館もシュートを打つが、決まらない時間帯が続く。終盤、学芸館は中のスペースを空けて1対1の勝負を仕掛けるが、一度傾いた試合の流れは簡単には取り戻せず、47-32と岡工がリードを広げて3Pを終える。
4P 1対1のインレーションを仕掛ける学芸館に対し、岡工は2-3ゾーンディフェンスでインサイドの守りを厚くする。学芸館は⑩のジャンプシュートや、⑨④のドライブなどで得点を挙げるが、最終的には後半から続く岡工の勢いが上回り、72-48で岡工が勝利した。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

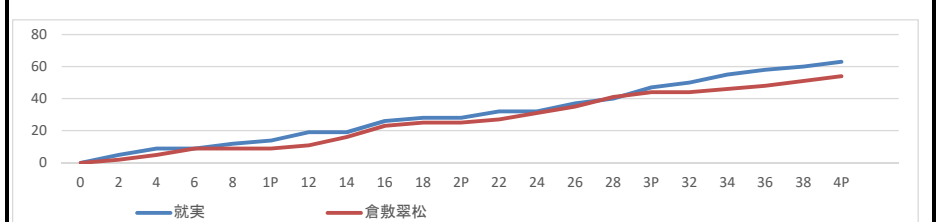
日時	2018年1月28日 12:30	女子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校 Hコート 第3試合		

○ 就実 63 $\left\{ \begin{array}{l} 14 - 9 \\ 14 - 16 \\ 19 - 19 \\ 16 - 10 \end{array} \right\}$ 54 倉敷翠松 ●

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
小坂 幸羽(C)	* 4	2		1		2	角場 沙綾(C)	* 4	12		6		
山中 茜音	5	-					福山 怜実	* 5	10		4	2	3
井上 玲菜	* 6	8		3	2	3	元林 沙月	* 6	4		2		2
平井 日奈子	* 7	10		4	2	2	梅澤 実佑	* 7	5		1	3	2
岩谷 樹	8	-					高橋 実優	* 8	13	3	2		1
中矢 愛乃	* 9	5	1	1		3	信岡 実咲	9	-				
岡村 季保	10	19	1	7	2		江川 晏那	10	-				
松尾 梨央	* 11	19	2	6	1	3	平尾 美月	11	-				
北村 歩	12	-					三島 瀬理海	12	0				2
山中 あみ	13	-					水嶋 嶺花	13	6		1	4	1
							原田 亜未	14	2			2	4
							大谷 玲未	15	2		1		
合計		63	4	22	7	13	合計		54	3	17	11	15

戦評

1P 就実⑩の3ポイントでゲームが始まり、⑩のドライブや⑦のバスケットカウントで点数を重ね、序盤は就実ペース。しかし翠松④のフックシュートや⑤のジャンプシュートなどが決まり、残り4分で9-9の同点となる。終盤、翠松の得点は止まるが、就実⑩⑪のドライブ、リバウンドシュートなどが決まり、就実14-9翠松で1P終了。
2P 序盤は点の取り合い。残り4分半、就実に試合が傾きかけたところで翠松⑦がカウントワンショットの3点プレーで23-23の同点に引き戻すなど、両者譲らない。一進一退の攻防が続く就実28-25翠松で2P終了。
3P 翠松④⑤のリバウンドシュートで逆転をはかるが、就実⑨に3ポイントを決められなかなか追いつけない。しかし、終盤翠松⑧の3ポイントから⑦がフリースローを2本確実に決め、ようやく40-41で逆転に成功する。負けじと就実も⑦のドライブ、⑩のバスケットカウントで逆転に成功する。就実47-44翠松で3P終了。
4P 序盤就実⑩のドライブや3ポイントで55-44と一気に点差を広げていく。くらいきたい翠松だが思うように攻めきれず、タイムアウトを取るが4分間無得点。ようやく翠松⑥が意地のリバウンドシュートから⑧の3ポイントが2本入るものの、就実⑦のバスケットカウントもあり、就実63-54翠松で試合終了。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

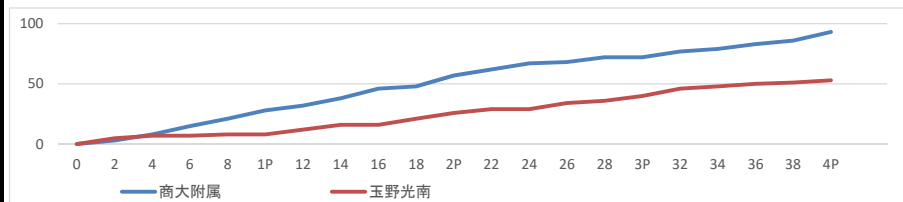
日時	2018年1月28日 14:00	男子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校 Gコート 第4試合		

○ 商大附属 93	$\left\{ \begin{array}{l} 28 - 8 \\ 29 - 18 \\ 15 - 14 \\ 21 - 13 \end{array} \right\}$	53 玉野光南 ●
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------	-----------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
守友 良 (C)	* 4	26	3	8	1	1	吉田 圭吾	4	3		1	1	4
藤原 進伍	* 5	-		2		2	竹崎 天晴	5	12	2	2	2	1
井上 成也	* 6	10		5		2	和泉 健大	* 6	-	3	6	2	
小林 亮太	* 7	13	3	2			新見 京介	* 7	9		3	3	1
河野 彪雅	8	-		3			前田 憲一郎 (C)	* 8	27		13	1	3
吉田 圭汰	9	0				1	丸川 琉	9	-	1	1		4
脇 真大	* 10	21	1	8	2	1	泉 雄太	* 10	-	1	3	2	
杉本 陽向	11	3	1			2	森山 翼	11	9	1	3		2
山田 陵太	12	-					中淵 隼介	* 12	2		1		1
鳥羽 昂輝	13	-	1				一色 悠希	13	-				
吉田 亘汰	14	0				1	若林 徹	14	-				
槇尾 青葉	15	-			1	1	山本 楽久	15	-				
櫻木 翔	16	-		1			赤松 俊亮	16	-				
福田 翔	17	-		1			寒川 善生	17	-				
田村 潤	* 18	-		1			磯野 凌也	18	9		4	1	2
合計		73	9	31	4	11	合計		71	8	37	12	18

戦評

1P 両チームともマンツーマン。光南が⑩の3ポイント、⑦の得点で先制し、対する商大も④の3ポイントで応戦する。お互い堅い守りを見せる中、商大④の連続得点で流れは商大に。光南もタイムアウトを取り、ゾーンで守りを固めようとするが、商大の速攻、⑦の3ポイントにより苦しい展開となり、商大28-8光南で1P終了。
 2P 光南の2-3ゾーンに対し、商大は⑦の連続3ポイント、⑩の速攻やリバウンドによる得点でさらにリードを広げにかかると。対する光南も⑥が2本の3ポイントを含めた活躍を見せ追い上げるが、速攻からオフェンスリバウンドまで、多くのチャンスを生かした商大の優勢は変わらず、商大57-26光南で前半終了。
 3P 光南⑥の3ポイントで始める。一方商大も④の3ポイントを皮切りに、⑩の3ポイントやドライブなどで、巧みにゾーンを攻略し、得点を重ねていく。光南も積極的にオフェンスを試み、⑨の3ポイントなどで得点するが、なかなか攻め切ることができないまま商大72-40光南で3P終了。
 4P 光南は1-1-3のゾーンで商大のボールを早めにチェックし、奪ったボールを⑥のバスケットカウント、⑩の3ポイントで追い上げ始める。メンバーが入れ替わった商大も⑩の3ポイントや⑧らの得点で追撃を許さない。残り1分はお互いに速いテンポで攻撃を展開し、点の取り合いとなったが、終始商大が主導権を譲らず、商大93-53光南で商大が勝利した。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

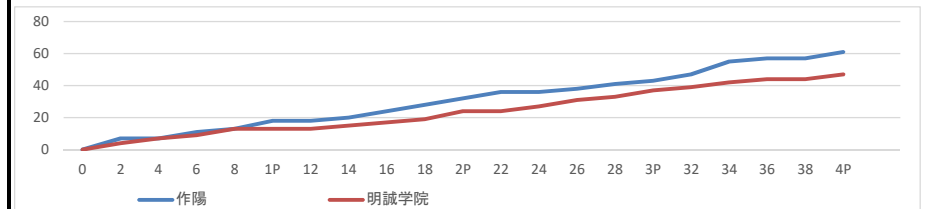
日時	2018年1月28日 14:00	女子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校 Hコート 第4試合		

○ 作陽 61	$\left\{ \begin{array}{l} 18 - 13 \\ 14 - 11 \\ 11 - 13 \\ 18 - 9 \end{array} \right\}$	46 明誠学院 ●
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------	-----------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
折居 来愛 (C)	* 4	10		3	4	3	垣内 琳香 (C)	* 4	9	1	3		1
加藤 夏希	* 5	4		2			田中 陽菜	5	-				
池口 歩花	* 6	11	1	2	4	3	赤澤 萌々子	* 6	15	1	4	4	4
							高原 巳和	* 7	8		4		5
堀尾 歩乃花	* 8	8		4		1	村田 はな	* 8	9	1	3		4
豊田 果穂	9	8		4		1	岩佐 真希	9	0				1
安藤 智里	10	4		2			吉田 梨子	* 10	5	1	1		2
							梅崎 愛恵	11	-				
							河本 徳容	12	-				
							貝原 萌望	13	-				
安藤 智美	* 14	16		6	4	4							
合計		61	1	23	12	12	合計		46	4	15	4	17

戦評

1P 両チームともマンツーマンでスタート。出だし作陽は⑭のバスカンで得たフリースローも沈めその後もゴール下を頑張るが明誠も⑥がゴール下にもぐりこんでシュートを決め⑩も3ポイントを入れるなど一進一退の攻防が続く。後半に作陽は⑭がバスカン、フリースローを決め⑧もリバウンドシュートをねじ込むなどで作陽18-13明誠で終了
 2P 作陽は⑭や⑨のゴール下やドライブで得点を重ねるが明誠も⑩から始まる速攻で対抗する。その後作陽は⑤のドライブや⑧の速攻⑩もジャンプシュートを決めるなど主導権を渡さず作陽32-24明誠で終了
 3P 作陽は⑧がリバウンドシュートを拾い、⑥がドライブを決めるなどして突き放しにかかるが明誠も⑧の3ポイントで対抗する。その後作陽は⑧がスローイン後のシュートを決め、④もフリースローを沈めるなど得点を伸ばそうとするが明誠も④が1対1を頑張る⑦もリバウンドの競り合いの中シュートを決めるなど一進一退の攻防が続く、作陽43-明誠37で終了
 4P 作陽は開始早々⑥がフリースローを沈め④がターンシュートを決めるが明誠も⑥がローポストを頑張る。作陽は残り8分を切ったところでゾーンをはり、⑥のドライブからのバスカンや3ポイント、⑭もゴール下を頑張るなどし、明誠は④が遠くから3ポイントを放ち、⑧もミドルを決めたものの後が続かず、作陽は途中マンツーマンに戻し⑨のジャンプシュート、⑩のバスコーからのシュートなどで突き放し、作陽61-46明誠と逃げ切った。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

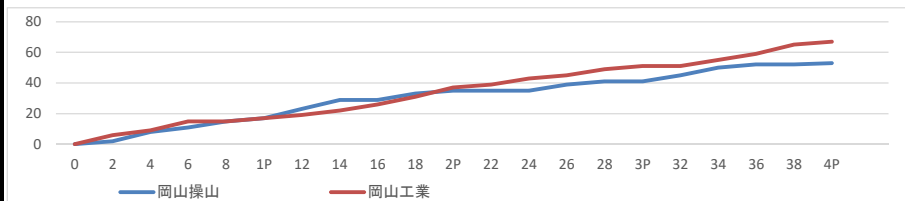
日時	2018年1月28日	15:30	男子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校		Gコート	第5試合

● 岡山操山 53	$\left\{ \begin{array}{l} 17 - 17 \\ 18 - 20 \\ 6 - 14 \\ 12 - 16 \end{array} \right\}$	67 岡山工業 ○
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------	-----------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
長尾 帆高(C)	* 4	10		5		4	池上 武志(C)	* 4	3		1	1	4
鶴海 光貴	5	-					難波 唯人 *	5	12	2	2	2	1
長尾 隆平 *	6	12		6		1	大森 吉貴	6	-				
青木 新之介 *	7	7		3	1	2	角谷 大成 *	7	9		3	3	1
折戸 剛	8	-					岡村 竜生 *	8	26		13		
高田 悠作	9	0					有松 隼弥	9	-				
秋山 遼河 *	10	9		4	1	1	滝谷 陵雅	10	-				
三村 力斗 *	11	14	1	4	3	2	青木 大聖	11	6		3		
金谷 一史	12	-					山北 陽太	12	2		1		1
大森 悠生	13	-					西本 早稀	13	-				
梶原 佑太	14	1			1		梶原 壮真	14	-				
佐伯 慎太郎	15	-					大西 将洋	15	-				
平井 励基	16	-					前花 拓海	16	-				
栗正 真宙	17	-					中井 敦斗	17	-				
田内 新大	18	-					木岡 裕太 *	18	9		4	1	2
合計		53	1	22	6	10	合計		67	2	27	7	9

戦評

1P 操山2-3ゾーン、岡工マンツーマンでスタート。操山が⑦のレイアップで先制するが岡工⑦、⑧、④が連続得点をあげる。その後、両チーム得点を取り合い、残り3分、操山⑩のフリースローが決まったところで操山15-15岡工となる。両チームが得点をあげ、操山17-17岡工で1P終了。
2P 岡工が2-3ゾーンを攻めきれず、操山が得点を引き離しにかかり、残り7分、操山が8点リードする。岡工も⑤、⑪が得点を入れ残り2分、岡工⑦のフリースローが決まったところで操山31-31岡工と追いつく。一進一退の攻防が続く、操山35-37岡工で2P終了。
3P 岡工が2-3ゾーンに変わる。岡工が操山2-3ゾーンに対応し、ハイポストからローポストへの合わせで得点を重ねる。操山も④のドライブで対応するが、岡工の2-3ゾーンを攻めきれず、徐々に点差が開いていく。操山41-51岡工で3P終了。
4P 操山が連続得点をあげ、残り7分、3点差まで詰める。しかし、岡工も操山の2-3ゾーンを攻め得点をあげる。残り5分、9点差がついたところで操山がタイムアウトをとる。タイムアウト明け、操山⑩がゴール下を決め、追い上げに入ろうとするが、岡工⑧、⑩、④が連続得点を決め、さらに点差をひろげていき、操山53-67岡工で試合を終える。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼
平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会

日時	2018年1月28日	15:30	女子	決勝リーグ
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校		Hコート	第5試合

● 創志学園 48	$\left\{ \begin{array}{l} 13 - 20 \\ 9 - 26 \\ 15 - 12 \\ 11 - 16 \end{array} \right\}$	74 就実 ○
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------	---------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
中場 遥香	4	0				2	小坂 幸羽(C)	* 4	0				
重永 朱里	5	0					山中 茜音	5	3		1	1	
杉岡 蘭南 *	6	7	1	1	2	1	井上 玲菜 *	6	23		10	3	2
岩上 朋加(C) *	7	17	1	5	4	1	平井 日奈子 *	7	8		4		2
下向 厘杏	8	4		2		4	岩谷 樹	8	2		1		4
定久 未奈 *	9	4		2		1	中矢 愛乃 *	9	17	2	5	1	2
渡邊 莉里那 *	10	0					岡村 季保	10	11	1	4		
							松尾 梨央 *	11	10	2	2		3
							北村 歩	12	-				
							山中 あみ	13	-				
宮本 蘭石 *	14	16	1	5	3	1							
合計		48	3	15	9	10	合計		74	5	27	5	13

戦評

1P 創志は開始早々⑦が3ポイントを決め、5-0と主導権を握る。一方、就実は⑨の連続得点で巻き返し、開始4分には5-7と逆転。中盤、創志のオフenseでミスが出始める。就実は⑥のポストプレーを起点に攻めるがシュートが決まらず、両者とも得点に伸び悩む。残り4分、就実⑩のドライブで膠着状態が崩れる。5点差のまま食らいつく創志だが、終了間際にミスから就実⑩に速攻を決められ、13-20で1P終了。
2P 創志は④がドライブで得たフリースローを2本決めて反撃開始。しかしその後はリズムが掴めない。就実は⑨⑩の速攻から勢いに乗る。インサイドを重点的に守る創志に対し、就実は3ポイントを決め、得点が止まる。20-28と8点差のまま迎えた残り5分、就実はリバウンドからの速い展開や、インサイド⑥の連続得点で一気に勢いを増し、前半終了時には22-44と大きくリードを広げた。
3P 後半立ち上がりは両者粘り強く守り、得点が止まる。開始1分半、創志⑥の3ポイントでようやく得点が動く。一方の就実は開始3分間得点ができない。点差を縮めたい創志は果敢に攻めるが、就実の固いディフェンスを前に流れを変えるまでには至らず、58-37と点差をわずかに縮めて3P終了。
4P 創志学園はディフェンスを3-2ゾーンに変える。開始3分、創志⑩がサイドライン際のルーズボールを⑥の速攻に繋げて勢いに乗る。ゾーンを攻めあぐねる就実は、残り4分までの得点をわずかに5点に抑えられる。創志はその間に15点差まで追いつけるが、後半は就実が⑦のドライブから一気に息を吹き返し、⑧の3ポイントや⑨⑥の速攻で創志をさらに引き離し、74-48で勝利を収めた。

